

# ごとう通信

第109号

平成22年1月1日

皆さん、明けましておめでとうございまして。本年もよろしくお願ひします。

今年のお正月も広島に帰省していましたが、とにかく寒いお正月でした。東京でポカポカとすごし、十二月三十日に帰広し、翌朝起きると白銀の世界。広島は降雪量が少なく、温暖な瀬戸内の気象ですから東京よりも雪が珍しいのですが…。

さて、今年もいろいろな活動に精力的に頑張っていることと思つています。その一つは、「口から食べる」ということをサポートする運動です。僕たちは、こ



れまでも口から食べられなくなる障害（摂食・嚥下障害）へのアプローチをしてきたのですが、問題は障害が起きてからではな

た。カップ麺とお菓子だけで生活する若者、いい加減な食生活をしていてもサプリメントを飲めば大丈夫豪語する大人たち（ちなみにサプリメントが体に効果があるかどうかは分かっていない）。これで明るい未来があると思ふ方が不思議です。

「食べる」ということをしっかりと見つめなおし、人間の文化として、健康への最初の一步として「食」があるということをお伝えしなければいけないのでしよう。今年はそのいうことを活動へと展開していきたいと考えています。

「ふれあい歯科  
ごとう」では、昨年まで非常勤で来ていた管理栄養士

の安田さんに常勤になってもらい、活動の幅を広げてもらいます。あま

り全国でも例のないことなので、僕たちも何ができるのかとても楽しみにしています。皆さんも期待してくださいませいね。

また、夫婦でマラソンは続けていきますよ。今年も夏に海外マラソンを予定しています。楽しく走ること

